

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はるにれ（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日	～	令和6年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 8人	(回答者数)	8人
○従業者評価実施期間	令和7年12月13日	～	令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数)	6人
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月1日	～	令和6年12月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 6施設	(回答数)	4施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月20日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの発達特性やアタッチメントの特徴をよく理解し、行動分析を用いて、子どもの客観的な見立てと支援方法を提示できること。	訪問先施設の支援方法や実情などに寄り添いながら、信頼関係を構築したうえで、助言等行っている。	訪問支援員のスキルアップなど
2		保護者と訪問先施設との関係性がよくなることも、こどもが安心して通うための重要な要素と考えている。保護者が園や学校をさらに信頼できるよう、「つなぐ役割」を意識している。	
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	午前中の訪問（直接支援）は調整しやすいが、午後は多機能型のため、放課後等デイサービスの利用者の対応もあり、調整が難しいところもある。	学校は直接支援の後、担任の先生が授業を抜けて間接支援に対応していただくことは、難しい状況がある。	放課後再訪問が必要なケースは、リモートで対応できるよう検討していきたい。
2			
3			